



ロータリーは 分かちあいの心

2007～2008年度
国際ロータリーのテーマ
ウィルフリッドJ.ウィルキンソン

会長／関野政人 幹事／山本讓二

DISTRICT 2510 JAPAN

留萌ロータリークラブ 会報

2007▶2008 WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ会長テーマ

みんなロータリーが好きだから
出会いを創造し活性しよう

プログラム

- 本日
「世界社会奉仕について」
国際奉仕委員会担当
- 次週予定
「留萌RC創立47周年記念夜間例会」
親睦活動委員会担当

- 会員誕生日
2月7日 高田 潔
2月10日 松村 孝二
- ご夫人誕生日
2月11日 笠原 弘子

- 特別慶祝（還暦）
2月7日 高田 潔

No. 2313
第28回 2月6日



前
例
会

会員総数……………51名
出免会員……………2名
欠席会員……………13名
出席率……………72.29%

前
々
会

第25回 1月16日
欠席会員……………13名
メイクアップ……………1名
修正出席率……………74.47%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

🖋️ 会長報告 ……………

- 2008～2009年度の第1グループのIMの開催計画が示されました。08～09年度は第1第2グループ合同で、滝川市において開催（創立50周年に合わせ）で計画したいとのこと。

👤 幹事報告 ……………

- 1) 国際ロータリー第2510地区ガバナー事務所より地区内上期社会奉仕活動の報告及び下期計画書がきております。同じく2009～2010年度のロータリー財団国際親善奨学生の募集・推薦について案内が届いております。
- 2) ロータリー米山記念奨学会より確定申告用領収書が届きましたので本日お渡しいたします。

- 3) 国際ロータリー日本事務局よりマルチブル・ポールハリス・フェロー・ピンが届きました。本日4名の方にお渡しいたします。深瀬会員、佐藤(潔)会員、関野会員、対馬会員です。
- 4) ロータリーの友2月号が届きましたので本日配布いたします。
- 5) ガバナー月信1月号が届きましたので理事役員の皆様に配布いたします。
- 6) ロータリー国際囲碁大会の開催案内が届いております。

会報受領先

・妹背牛RC No.1974号～No.1976号

委員会報告

国際奉仕委員会 森(幹)委員長

先週もお願い致しましたが、論山RC創立40周年及び姉妹血縁35周年記念式典参加者募集の件で、皆様に既にFAXにてお知らせを致しました。参加希望者はFAXにて幹事までとなっておりますが、参加希望者は私の方まで連絡をいただけたらと思います。よろしく申し上げます。

愛好会

PC愛好会 田中会員

先週の例会でもお話しし、会報にも載っておりますが、今年度第1回目の愛好会を2月6日に開催いたします。本日皆様のテーブルに配布致しました参加申し込み書に、参加希望者は名前をお書きください。よろしく申し上げます。

3分間情報

会員研修委員会 河部副委員長

ロータリーを分かちあう

ロータリーの精神を共に分かちあうことは、わたし達ロータリアンの使命です。

地域社会は勿論のこと、全世界にわたってロータリーの精神を体得した人を一人でも多くつくり、平和な住みよい世界をつくらなければなりません。

クリフ・ダクターマン1992~93年度RI会長の著書の中に、「新会員とロータリー精神を共にする」という項がありますが、その中で、「各ロータリアンはロータリー精神を他の人々と共に分かちあう、そして資格のある人々をロータリー・クラブの会員に推薦することによってロータリーを広げる手助けをするという義務がある」と述べています。

今年度のRI会長は、(ロータリーは分かちあいの心)というテーマを掲げ、ロータリーの神髄は分かちあいにあるとし、ロータリーでいう分かちあいについて詳しく述べています。

ロータリーでいう分かちあいとは

- 自分に必要でないものを人にあげるという意味ではなく、自分自身を惜しげなく、人の役に立つことのために捧げるという意味である。
- 自分もっているものをほかの人々と分かちあい、私たちの友情と親睦をほかのロータリアンたちと分かちあうためにロータリーに集まっている。
- 自分たちの地域社会のニーズを見出し、それらの中から、最も効果的に応えることのできるニーズを決定するために時間を使うということ。
- ロータリーでは、それぞれのクラブで自分の時間を分かちあい、才能を分かちあい、資産を分かちあい、やさしさと愛を分かちあうなど、数え切れないほどの方法で分かちあいをしている。
- 質の高い新しい会員をクラブに連れてくることでロータリーを分かちあい、若者に焦点を当てることで次の世代の人々とロータリーを分かちあう。

(「ロータリー探究」から)

ニコニコBOX

- 何か良い事がありますように 関野会長
- 良い事があればいいな 原田会員
- 先週の例会でDVDを頂きました 高田会員

前 回	715,000円
今 回	3,000円
累 計	718,000円

プログラム

「年男大いに語る パート2」

越野会員

ロータリーに入会して3回目の年男で、私が1番年上のねずみだと思います。考えてみますと人生の半分以上をロータリーに籍を置かせていただいています。

福田総理も私と同じ昭和11年生まれの年男で



すので、年頭の挨拶を期待して聞きましたが、チョロ・チョロしていて、諸問題の解決に全力を尽くしますと言っただけで、新しい政策が無かったのが残念です。それで今年はどうなるのか暦を見ました。それによると、今年は穏やかに見えても波乱を含んでいてなかなか思うようにいかず、何らかの変化・変動を余儀なくされそうな1年になると書いてあり、万事に積極策より消極策が寛容で、一歩さがり、周囲の人に対して思いやりのある寛大な心を持つと無事安泰に過ごせるとの事で、今の福田総理に大きな期待は持てないと思います。

私はねずみ年は景気が良くなると信じていたので、大変がっかりしています。過去のねずみ年では、昭和35年は池田総理が所得倍増計画を掲げて新幹線の開通。オリンピックに備え、東名高速、首都高速を着工。カラーテレビの本放送等景気が向上し、国民の9割の人が中流階級の意識を持つようになりました。次の昭和47年では、田中角栄総理が日本列島改造論を掲げ、高速道路の新規着工、鉄道整備、公共事業に力を入れ、土建業界は大変活気ついた。昭和59年になると不動産の土地売買等により、土地高騰を招きバブルの時代に入り、株式の売買も盛んになりました。しかし、バブルが弾け銀行の過剰融資により銀行の破綻を招き、税金をその処理に投入しました。利息を下げ、国民生活を犠牲にし、現在に至っています。

2年前に京都に桜見物に行ったときの事ですが、タクシーに乗った時、干支は何ですかと尋ねられ、ねずみと答えると、丁度京都の哲学の道あたりを走っていたので、ねずみを祠っている神社があるので立ち寄りましょうと停めてく

れました。そこは大豊神社で大国さまを祠っていました。「古事記」に七福神の縁結びの神である大国主命を野火の危険からねずみが救った神話に基づいてねずみも祠っているそうです。鳥居をくぐると狛犬ではなく狛ねずみがあり、本殿の横の小さなほこらに狛ねずみが祠ってありました。社務所により土鈴の狛ねずみを買ってきて、今年家の玄関に飾っております。京都では正月に神社、お寺にお参りした後、干支のある神社にお参りするそうです。12の干支の神社があるそうです。

年男の福田総理もねじれ国会で野党の迫及の野火から逃れ、景気回復に努力されるよう期待したいと思います。

宮尾会員

年男大いに語るという事で卓話をせよとの事ですが、実はロータリーに入会していた私の父も大正14年生まれのねずみ年でした。昨年に我が生い立ちの卓話を致しましたので、今回は昨年より2年間、中学校のPTA役員を務めておりますので、このPTA活動を通して食育に思うという事でお話しをさせていただきます。

PTAの研修会ではここ3年くらい食育と言うのが流行でありまして、国でも平成17年7月に食育基本法を施行致しました。北海道も食育計画を策定しており、市町村レベルで言えば留萌市も平成20年度にむけて、留萌市食育基本計画を策定中との事です。

研修会で教わった事ですが、勉学の知育、スポーツや運動の体育、道徳などの徳育などありますが、食べることの食育（五感教育）が大切であると言われます。よくおふくろの味と言われますが、これは母親の味が刷り込み（インプリンティング）されるからで、年をとっても一番美味しく感じられる味だそうです。ごはん1杯は約3,250粒の米だとも言っていました。人間の3大老化現象は、骨や血液そして脳です。しかし味覚は歳をとってもボケないそうです。よく老人施設で寝たきりの方が食事をしていますが、けっして味覚はボケないそうで、温かい物は温かく、冷たいものは冷たくして食べさせ



た方が良いとの事で、動けなくなると食べる事だけが唯一の楽しみとなるので、気をつけようとの事でした。

今、学校ではモンスターペアレントという親が問題になっており、例えば給食費の問題では払わない方もおられますが、お金を払っている方から、「お金を払っているのだから子供にイタダキマスと言わせるな」と言ってくる親もいるそうです。いただきますの感謝の意味が違うのにそれをわからない親、食育は子供にも大切であるが親にも必要な時代になったようです。いま国連では日本語が持て囃されているようで「もったいない」という言葉がうけているそうです。このもったいないという言葉は外国語にはないそうです。

最後に研修会で私の心に残った事をお話すると、

1. 食は命であり、食が乱れると生活の乱れを生む。
2. 人間は脳で食べるという事、食べると食うは違う、また満腹と満足は違うということ。
3. 朝食を食べると脳が活性化すること。早寝、早起き、朝ごはん、そして運動が大切で、医学的、生理学的に良く、人間が覚醒するのは起きてから2時間くらいだそうです。
4. 味覚が人柄(性格)をつくる。五感の中の味覚はサピオと言ひ、ホモサピエンスは知恵のあるヒト、味覚のわかるヒトという意味でもあるそうです。よく味のある人柄とか、苦味のわかる人などと言われますが、苦味は本来人間ならではのもので、動物は食べ物では腐っている、毒があるという事で、絶対食べないものです。

5. 食べる事は噛むことで、噛むことの効用としてパロチン効果があるそうです。脳の活性化や集中力とリラックス効果もあるそうです。昔よく噛みなさいと親に言われましたが、最近の子供は流動食みたいなゼリーなどが好きみたいです、私は子供に燻製などを食べさせています。8020運動と言うものがあり、80歳で20本の自分の歯を持ち、自分の歯で食べる事が長生きの秘訣とされます。食育を大切にし、親も子供と一緒に成長していく時代だと感じました。

